

風しん任意接種費一部助成

対象者／平成30年度に接種を受けた平成2年4月1日以前生まれの方で、妊娠を希望する女性、妊婦の夫

※他にも要件があります。

申請方法／医療機関で接種、費用支払い後に直接
※申請書は市ホームページからダウンロードできます。

申請期限／3月31日まで



麻しん風しん混合予防接種(2期)

平成30年度麻しん風しん予防接種2期対象の方は、無料となる公費助成が3月末で終了します。まだ受けていない方は、早めに受けましょう。

対象者／平成24年4月2日～25年4月1日生まれで、麻しん風しん混合予防接種2期を受けていない方

助成期間／3月31日まで

※転入や紛失などで予診票をお持ちでない方は、母子健康手帳を持参のうえ、健康増進課で交付手続きをしてください。

健診結果まると相談

「健康診断を受けたら、終わり」ではありません。健康診断を受けた後が肝心です。結果の見方や改善方法などについて相談できます。これからは元気に過ごすために、ご利用ください。

日時／3月12日(火) 午前9時40分～正午、午後1時40分～4時のうち15分間

場所／土浦市保健センター

対象者／健診を受けた本人またはその家族

内容／保健師や栄養士との個別相談(健診結果の見方・結果で気になることについてなど)

持ち物／健診結果

申込方法／電話で(事前予約制)

※かかりつけ医のいる方、結果が要精密検査だった方は、医師への相談をお勧めします。

予防接種の償還払いについて

市が行う定期予防接種および任意予防接種を協力機関以外で受ける場合、償還払いにより公費負担を上限に還付します。(自己負担が生じる場合があります)協力医療期間以外での接種を希望する方は、接種する10日前までに健康増進課へご連絡ください。

必要書類／

- ・申請書兼請求書(電話連絡後、ご自宅へ郵送します)
- ・領収書(被接種者氏名、予防接種の種類、接種料金、接種日、医療機関名の記載があること)
- ・予診票または予防接種を受けた事実を証明する書類(母子健康手帳の写し、接種済証など)

申請方法／必要書類を郵送または直接

申請期限／接種を受けた日の年度末まで

※今年度の窓口での受け付けは3月29日(金)までとなります。

3月の献血

日時／3月15日(金) 10:00～11:45、13:00～16:00 場所／イオンモール土浦(専門店北入口)

健康教室

はしかについて

土浦市医師会
鈴木敏之(おおつ野こどもクリニック)

麻しん(はしか)は麻しんウイルス感染により、高熱、全身の発疹などがあらわれます。合併症として肺炎、脳炎などがあり、場合により死亡することもあります。空気感染といって同じ空間に麻しん患者がいると、その患者に接触しなくても感染してしまう非常に感染力の強い病気です。2007年に10～20歳代に全国的な大流行が起こったため、2008～2012年度の5年間、中学1年生、高校3年生に2回目の麻しん風しん(MR)ワクチンの定期接種が実施されました。2008年に1万人を超える麻しん患者がいましたが、その後着実に減少し、2015年3月、WHOから麻しん排除国の認定を受けました。麻しん排除の過程で、ワクチン2回接種は非常に大きな役割を果たしました。2006年以降のMRワクチンの2回接種(1回目が1～2歳、2回目が小学校入学前の1年間)導入と5年間の追加接種を合わせると、30歳未満の多くがMRワクチンを2回

接種したこととなります。しかし、2019年度に30～46歳になる人は1回の接種機会のみで、2019年度に47歳以上になる人にワクチン接種機会は無く注意が必要です。国内から排除された麻しんですが、その結果、おもに小児が罹患する病気であったものが、海外渡航者や観光業者などが麻しん罹患のハイリスクグループになってきています。2016年夏、海外からの帰国者が麻しんにかかり、国内で感染者が広がりました。当該男性はMRワクチンを接種していませんでした。麻しんが「輸入感染症」になっていることを象徴する「事件」でした。たとえ国内から排除できても世界的に排除できなければ麻しんの脅威はまだ大きいのです。したがって、日頃から高いワクチン接種率を維持すること、そして『海外渡航前に罹患歴・予防接種歴を確認し、罹患歴がなく、2回の接種歴が確認できない場合には、渡航前にMRワクチンを受けること』が重要です。